

## 森林作業システムの概要シート

自己紹介の際に、紹介していただく予定です。分かる範囲で記入の程、よろしくお願い致します。

### 1 受講生について

ふりがな	シンリン タロウ			経験年数	6 年
氏名	森林 太郎				※受講要件は、概ね4年以上
従事している主な作業	① 事務(施業計画等)    ② 路網作設    ③ 車両系集材作業 ④ 架線系集材作業    ⑤ その他( )				
研修で学びたいこと	例1) 伐倒が早く済んで、集材の待ち時間が生じてしまうので良いやり方はないか。 例2) 稼働中のハーベスタが故障すると作業全体が止まるため、メンテナンス管理を学びたい。				

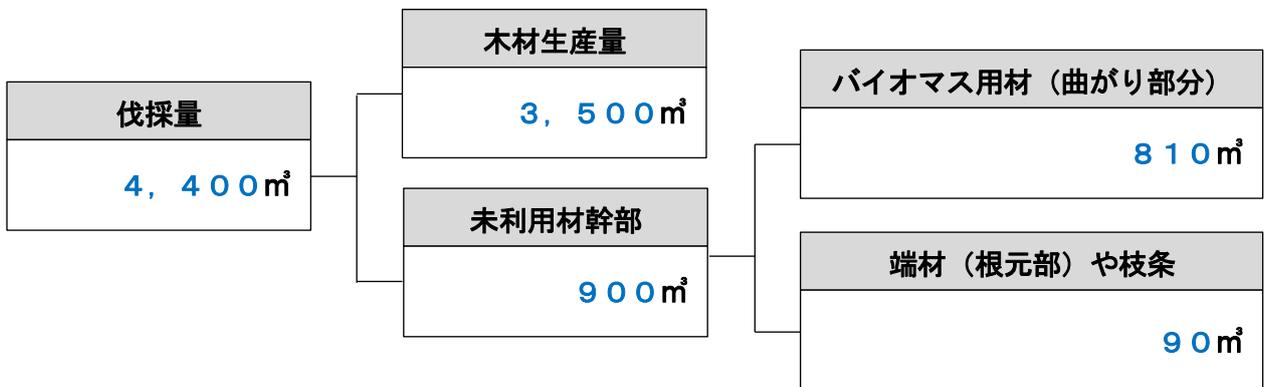
### 2 事業体について

事業体名	●● 株式会社				
年間事業量	10,000 m <sup>3</sup>	作業者	10 人	作業班	2 班
保有機械	チェーンソー、グラップル、ウインチ、ハーベスタ、フォワーダ、バックホウ				

### 3 直近に実施した施業地の概要について

#### 3-1 現場条件

施業方法	① 皆伐    ② 択伐    ③ 間伐 ④ その他( )			ha 当たり 立木本数	700本/ha
伐区面積	10ha	伐採率	100%	平均傾斜	25度
対象樹種	スギ	平均樹高	20m	平均胸高直径	30cm



※伐採量 = 伐区内の立木の蓄積量 × 伐採率

### 3-2 森林作業システム

区分	使用機械	人員	作業量	日数
(例) 伐倒	チェーンソー	2人	3,000 m <sup>3</sup>	25日
集材	グラップル、ウインチ	3人	3,000 m <sup>3</sup>	57日
造材	プロセッサ	1人	3,000 m <sup>3</sup>	62日
小運搬	フォワーダ	1人	3,000 m <sup>3</sup>	60日
<b>道沿い</b>				
伐倒・集材・造材	ハーベスタ	1人	1,000 m <sup>3</sup>	16日
小運搬	フォワーダ	1人	1,000 m <sup>3</sup>	21日
<b>それ以外</b>				
伐倒	チェーンソー	2人	3,300 m <sup>3</sup>	27日
集材	グラップル、ウインチ	3人	3,300 m <sup>3</sup>	63日
造材	ハーベスタ	1人	3,300 m <sup>3</sup>	68日
小運搬	フォワーダ	1人	3,300 m <sup>3</sup>	66日
作業道作設	バックホウ	1人	2,000m	50日
一貫作業システムの 実施 (※)	有 ・ <input type="checkbox"/> 無			
生産性を上げる工夫	<p>例1) 作業道沿いとそれ以外とで作業システムをわけて、ハーベスタの稼働率を上げている。</p> <p>例2) 集材造材と小運搬が同時に行えるように、土場を設けている。</p> <p>例3) 終業点検を徹底して、適宜必要な道具があれば翌朝までに買い揃えるようにしている。</p>			
添付資料 (必須)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業地の図面 (1/5,000 程度)			

※一貫作業システムとは、伐採・搬出と並行して地拵え、植栽を実施する作業の仕組み